



シラバス参照

タイトル「2014年度 教養科目シラバス」、フォルダ「2014年度 教養科目シラバス-2014年度シティズンシップ科目」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	情報科学入門		
担当教員	岩崎 慶 葛岡 成晃 呉 海元 坂間 千秋 瀧 寛和 中村 恭之 和田 俊和 天野 敏之		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	月 2	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年 【現代のIT】取得者は受講不可、システム工学部情報通信システム学科及びデザイン情報科学学生が受講しても卒業要件の単位として認められない。		
科目名 (英語表記)	Introduction to information science		
授業のねらい・概要・科目の位置付け	現代は情報社会と呼ばれています。パソコンなどの情報機器が日常生活の必需品になり、技術者ではない一般の社会人にとっても現代の情報技術を理解することは重要です。本講義では情報科学を支える基盤技術について、その歴史的背景と現状を学習することを目的としています。具体的には、 第1部 情報科学の歴史 第2部 情報科学の基礎 第3部 情報科学の応用 について、各分野の専門の先生がリレー方式で解説します。 本講義は、コンピュータに関する知識をあまり持ち合わせていない学生にとっても、興味を持って参加してもらえるような科目と位置づけています。		
授業計画	回	内容	
	1	情報科学入門のガイダンスと情報科学の歴史 1	
	2	情報科学の歴史 2	
	3	情報科学の歴史 3	
	4	情報科学の歴史 4	
	5	情報科学の歴史 5	
	6	コンピュータのしくみ	
	7	アルゴリズムとプログラム	
	8	数値計算の方法	
	9	データベース	
	10	人工知能の背景	
	11	ものづくりにおける技術者倫理	
	12	デジタル画像処理	
	13	コンピュータビジョンの過去・現在・未来	
	14	ビジュアル情報技術	
	15	期末テスト	

到達目標	現代の情報社会の基盤技術を学習し、理解を深めることを到達目標とする。
成績評価方法	成績評価はレポート(50%)と期末テスト(50%)の合計点による。
教科書	使用しない。講義中にプリントを配布する。
参考書	講義中に紹介する。
履修上の注意・メッセージ	講義に臨むにあたって予習は特に不要であるが、講義後のレポート作成や復習に1～2時間の学習時間が必要となる。 前期に開講される「情報通信システムのしくみ」と併せて受講すると理解がより深まる。なお、本講義はシステム工学部情報通信システム学科とデザイン情報学科の学生は受講登録できない。
授業時間外学習	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。

